

秋の古楽器コンサート

11月3日(木)

14:00~

B. マルチェッロ (1686 -1739)
リコーダーソナタ 第2番

D. ガブリエッリ (1640-1690)
トランペットソナタ 第5番

G. B. ヴィヴィアーニ (1638-ca1692)
トランペットソナタ 第1番

J. C. ペプシュ (1667-1752)
カンタータ「愛の神は美しいマイラの瞳の中で顔をしかめる」

J-N-P. ロワイエ (ca1705-1755)
スキタイ人の行進 他

北海道大学総合博物館
1階「知の交流」コーナー

座席数は40席程度になります。
それ以上は立ち見になりますので
ご了承下さい。

イラスト: 大橋高枝 中田川百合

ポプラこの古の大志、札幌の地に生まれ

2004年 嵐によって倒れ

2006年 ここに蘇る

(チェンバロに刻まれたラテン語の銘文)

明治36年(1903年)に植林されて以来、樹齢100年に至る今日までポプラ並木は、本学のシンボルとして学生や市民に親しまれてきました。ところが、平成16年の台風18号により半数近くが倒壊してしまいました。

再生を願う声が全国から寄せられ、北大はポプラ再生事業に着手し、世界にも例を見ない30トンにもおよぶ倒木2本の立て直しに成功しました。倒れたポプラ並木を木工品として蘇らせるというプロジェクトも進められ、ポプラは様々な工芸品に生まれ変わります。その代表作が、チェンバロです。

チェンバロ製作のご提案は、北海道教育大学の市川信一郎教授から、製作は、横田ハーブシコード工房の横田誠三さんにお願いました。昔のヨーロッパでは、ポプラでチェンバロなどの楽器がつくられることもあったそうですが、現在ではめずらしい試みといえるでしょう。

完成まで2年の歳月が費やされ、キャンパスカラーの緑色で縁取りされたチェンバロには、100年の歳月を生き抜いたポプラの深みを感じられます。

(北海道大学総合博物館ホームページより)

チェンバロ	新妻 美紀	メッツォ・ソプラノ	谷川千佳子
ヴィオラ・ダ・ガンバ	松田 祥子	リコーダー	田崎菜津子
バロック・トランペット	内藤由美子		